お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	スイッチの引きひもを強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。（破損して落下の原因）
	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）		ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。
	節電その他の理由でランプを取りはずして間引き点灯しない。		

点　検

- 6ヵ月～1年に1回、機能（非常点灯持続時間と切替動作）の点検を行う。［建築基準法施行規則第6条･消防庁告示第3号と第14号］
- 階段通路誘導としてご使用の場合は、24時間以上充電後非常点灯持続時間20分以下となったら蓄電池を交換する。
- 非常灯としてご使用の場合は、48時間以上充電後、非常点灯持続時間30分以下となったら蓄電池を交換する。
- 消防法では点検結果を所轄の消防署に報告すること義務づけられています。［消防法施行規則31条］

ランプ交換 ・ 器具の清掃

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う。（感電の原因）

ランプ交換

適合ランプ：FCL20
適合グロースタータ：FG-1E

光束値の違うランプに交換する場合、照度範囲がかわります。

清　掃

○やわらかい布にぬるま湯または石けん水をつけてよく絞ってふきとってください。

⚠警告
器具・ランプを水洗いしない。（火災・感電の原因）

⚠注意
- ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。（高温のためやけどの原因）
- ○ランプはソケットに確実に取付ける。（取付けが不完全な場合落下の原因）
- ○使用済みのランプは不用意に割らない。（ガラスが飛散してけがの原因）

蓄電池の交換

適合蓄電池	４Ｎ２３ＡＡ

○蓄電池の交換は指定のものを使用してください。

⚠警告
蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない。また、火中に入れない。（やけどや衣類損傷の原因）

Ni-cd

この製品には、ニカド電池を使用しています。ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出り、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は,すぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

照明器具の寿命について

- ●照明器具には寿命があります。設置して８～１０年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検交換をおすすめします。。
- ●周囲温度が高い場合･点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- ●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- ●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買い上げ日より１年間です。ランプ、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業統括部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

E763Z748H50

三菱階段通路誘導灯・非常用照明器具兼用形（蓄電池内蔵形）
ＷＰＨ２００１（防雨形）

保管用

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告 、⚠注意 の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。）（火災の原因）	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）
	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35°C以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	器具を密集して取付けない。（10cm以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因）
	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）		表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の９０％以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。（火災・感電の原因）
	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）
	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。（火災・感電の原因）	厳守	使用地域の周波数にあった器具を使用する。（火災の原因）
	調光用専用器具以外は調光させない。（器具が過熱して火災の原因）		

お　願　い

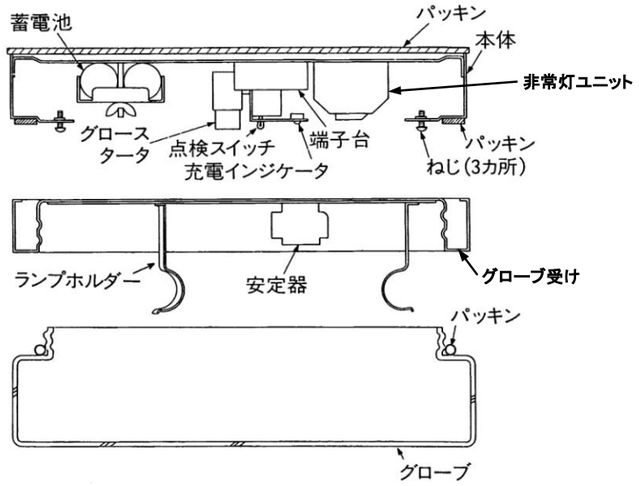
器具の周辺温度が5～35°Cの範囲で使用してください。
直射日光や、空調機器等の排気口･温風吹出口付近の取付けはお避けてください。
（ 蓄電値の寿命が低下することがあります。）

定　格

使用ランプ	蓄電池	定格	定格電圧	入力電流	入力電力	充電方式	充電電流
FCL20Wx1	4N23AA (4.8V2.3Ah)	常時	AC100V	0.37A	25.8W	トリクル充電	92mA
		非常時	密閉形Ni－Cd蓄電池 4.8V 2.3Ah				

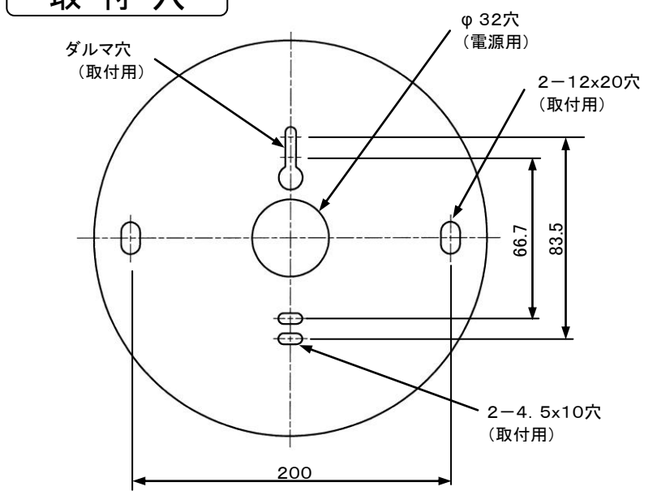
各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

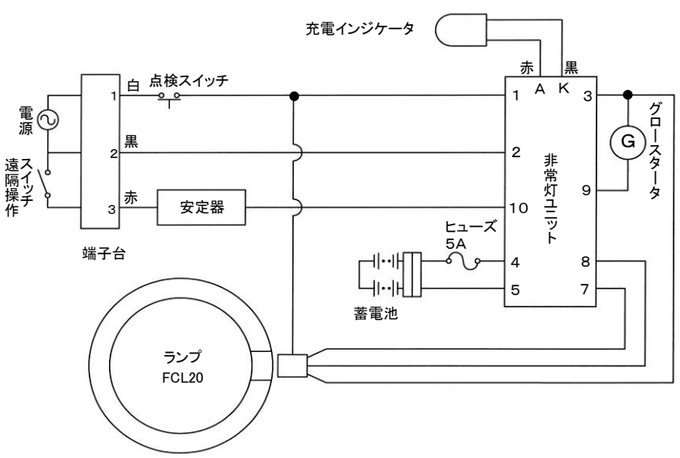


この図は、共通化のため、省略、抽象化してあります。

取 付 穴



接 続 図



1 取付前の確認

器具質量の１０倍以上（１ヶ所あたり）に耐えるよう、器具取付部の強度を確保する。

⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。(落下の原因)

2 器具本体を取付ける。

(1)電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込む。
(2)壁面取付けの際は上下の取付方向を確認する。
（蓄電池が下になります。）
(3)本体を確実に取付ける。
○取付面に凹凸がある場合（タイル張りなど）には、器具取付部分の周囲に防水パテなどを詰めてください。
また、電源の引き込み口も水が入らないようご注意ください。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因

3 電源線を電源端子台に接続する。

(1)電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
(2)アース線を差し込み穴に確実に差し込む。
＜Ｄ種（第３種）接地工事が必要です＞
○電源端子台の容量は**２０Ａ**です。
○適合電線：φ１．６mm単線
φ２．０mm単線
○電源線は専用回路にする。

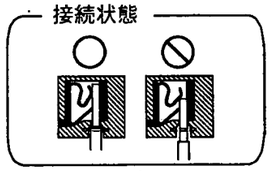
⚠警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

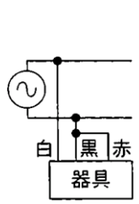
⚠警告
送り配線は誘導灯及び非常用照明器具専用し、容量を確認して接続する。(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

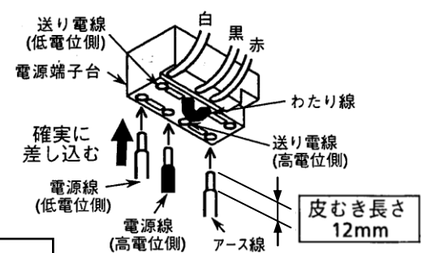
⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。
(差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

接続状態



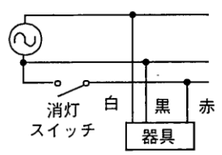
〈単相2線2線引き・平常時消灯しない場合〉



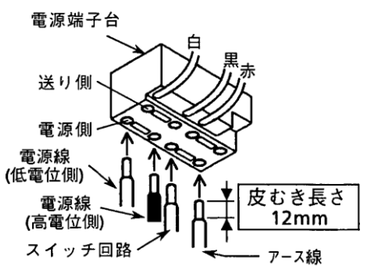


⚠警告
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない。

〈単相2線3線引き・平常時消灯する場合〉



・電源端子台のわたり線をはずす。



○誘導灯としてこの結線方法を使用する場合は、所轄の消防署の了解を得る必要があります。

○通電後、蓄電池と非常灯ユニットのコネクタを接続する。
通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外す。
○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込む。

4 グローブ受けを取付ける。

○ねじ３ヶ所でグローブ受けを取付ける。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

5 安定器のコネクタ接続する。

○コネクタを接続する。

⚠注意
接続が不十分な場合不点の原因

6 ランプを取付ける。

○ランプを装着する。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

7 グローブを取付ける。

○グローブをグローブ受けに時計方向に廻してしっかりと取付ける。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

8 点灯検査

次の点灯状態を確認して万一点灯しない場合、下記項目をチェックする。
(1)通常点灯しない場合
●ランプやスタータはソケットに固定されていますか。
●安定器のコネクタははずれていませんか。
●誤配線をしていませんか。
●電源電圧は定格どおりですか。

(2)非常点灯しない場合
●蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
●非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。
●蓄電池は、階段通路誘導灯としてご使用の場合24時間以上充電してありますか。非常灯としてご使用の場合48時間以上充電してありますか。
(3)充電インジケータ(緑色の表示ランプ)が点灯しない場合
●電源は通電されていますか。
●蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
●非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。